



shaping your dreams

OSG 通信

第107期 通期のご報告

2018年12月1日 ~ 2019年11月30日

CONTENTS

OSG Global Challenge	1
株主の皆様へ	3
特集：世界で成長を続けるOSG	6
財務データ	7
会社概要 / 株式の状況	10

オーエスジー株式会社

証券コード：6136

OSG Global Challenge

当グループでは、2017年11月期より4カ年の中期経営計画「The Next Stage 17」にて、2020年11月期に連結売上高1,500億円、営業利益300億円の達成を目指して、基本戦略である「大手ユーザー戦略」と「カタログ品戦略」に取り組んできました。

しかしながら2019年に入ってから、米中貿易摩擦に起因する景気減速感の影響などにより、中期経営計画に掲げた目標達成が非常に厳しい状況になっております。中期経営計画の目標達成については、2021年11月期以降にずれ込むことが予想されますが、基本戦略をグローバルに推進し続けることで、今後も持続的な成長にチャレンジしてまいります。

The Next Stage 17

[2017年11月期～2020年11月期中期経営計画]

中期目標 売上高 **1,500**億円 営業利益 **300**億円

長期ビジョン

世界トップの穴加工用切削工具メーカー

主力製品の
世界シェア

No.1

〈タップ、エンドミル、ドリル、転造工具〉

営業利益率 **20%**

営業利益率20%に向けて

量産効果

- 地域セグメント別Aブランドのマーケティング
- 新生産管理システムの導入

高付加価値化

- 最先端コーティング品の採用
- 徹底した顧客ニーズへの対応

グループ内のシナジー強化

- コア技術の迅速な世界展開
- グループ製品のグローバル販売

基本戦略

大手ユーザー戦略

- ▶ 自動車産業に注力
- ▶ 航空機産業を自動車産業に次ぐ柱とする
- ▶ 成長分野の新規大手ユーザー開拓

How?

常にユーザーに寄り添い
ニーズにあった工具と加工方法を提案する。

- ▶ 納期対応力とコスト競争力の両立
- ▶ テクニカルセンターの拡充
- ▶ M&A (買収企業とのシナジー最大化)

カタログ品戦略

- ▶ 一般機械加工業や金型産業など、世界中のより多くのお客様へ

How?

コストパフォーマンスに優れた工具をタイムリーに提供し、
お客様の生産性向上に貢献する。

- ▶ 超硬のラインナップ拡充
- ▶ 流通組織 A-Club を世界中で展開
- ▶ 在庫政策と物流体制のさらなる強化

shaping your dreams

お客様の夢をカタチに



変化する環境に対応し
次代を見据えて
積極果敢な経営を実践しました。

代表取締役社長 兼 CEO 石川 則男



財務ハイライト

売上高

(億円)



Q1

当期(2018年12月1日～2019年11月30日)の
経営環境と業績について教えてください。

当社を取り巻く事業環境は、上期は前年度からの好況が持続したものの、下期以降は、米中貿易摩擦に起因する景気の減速が見られ、世界経済の成長率は鈍化傾向となりました。当社グループにおいては、アジア地域一帯でその影響を受けつつ、その他の地域では主要ユーザーである自動車関連産業向け及び航空機産業が堅調に推移し、中間決算では売上高、利益ともに過去最高を達成しました。しかしながら下期は、為替変動の影響も相まって、業績が下振れする事態となりました。

以上の結果、売上高は1,269億円(前年同期比3.4%減)、営業利益は195億円(同13.2%減)、経常利益は197億円(同12.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は136億円(同7.0%減)となりました。また、海外売上高比率は57.3%(前期58.4%)となりました。

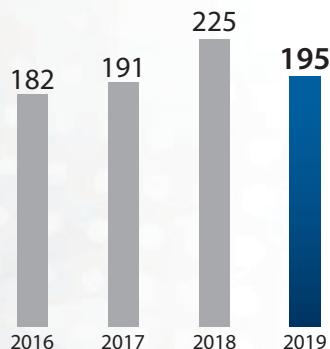
Q2

中期経営計画「The Next Stage 17」の
進捗状況について説明いただけますか。

中期経営計画3年目に当たる当期は、中期経営目標の達成に向け、基本戦略である「大手ユーザー戦略」「カタログ品戦略」を多角的に推進しました。お客様のニーズに寄り添った最適な工具と加工方法を提案する「大手ユーザー戦略」では、軸心の自動車産業に加え、第2の軸と位置付ける航空機産業に注力し、想定以上に新規の受注を獲得することができました。さらには、他社との協業による研究開発がスタートするなど、これまで蒔いてきた種が徐々に芽吹き始めているという手応えがあります。コストパフォーマンスに優れた工具の提供し、お客様の生産性向上に貢献する「カタログ品戦略」では、高性能工具シリーズ「Aブランド」が成長するとともに、販売を支える流通組織「A-club」の世界各国の拡大も大変順調です。景気の減速感が強まる中でも、しっかりと歩みを進めた1年でした。

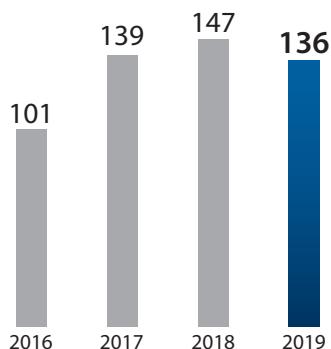
営業利益

(億円)



親会社株主に帰属する 当期純利益

(億円)



営業利益率

(%)



Q3

来期の業績見通しについては、
どのようにお考えですか。

2020年は中期経営計画の仕上げの年です。世界経済動向は先行き不透明であり、刻一刻と変化する事業環境に対応できるようグローバルな視野を持ち、世界中での新たな需要獲得に向けグループ体となって取り組みます。具体的には、航空機産業のシェア拡大、コーティングビジネスの強化、さらにはM&Aの検討を進めるとともに、シナジー最大化に向けPMI^{*1}にも注力します。生産面では、2020年5月にNEO新城工場が稼働します。加えて、各種データを一元化する「OPDM^{*2}」を基軸とした全社横断プロジェクト「OSG4.0」により、主力工場のスマートライン化を進めて、大幅な生産性向上を実現します。

これらの取り組みにより、来期の連結業績は、売上高1,290億円、営業利益185億円、経常利益185億円、親会社株主に帰属する当期純利益122億円を計画しています。

Q4

株主の皆様へメッセージをお願いします。

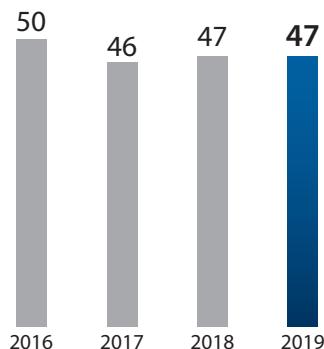
当社は株主の皆様への利益配分を重要な経営課題の1つとして認識しており、連結ベースでの配当性向30%以上を目処として、キャッシュ・フローや財務状況などを総合的に勘案して配当を実施させていただくことを基本方針としております。当期末の配当は、1株あたり24円に、中間と合わせた年間配当は、1株あたり47円とさせていただきました。

オーエスジーは、総合工具メーカーとして地球規模で事業を展開し、創業以来受け継がれてきたチャレンジ精神を発揮してグローバルステージで成長を続けてきました。これからも「お客様の夢をカタチにする」企業として世界の製造業への貢献を目指し、たゆまぬ挑戦を続けてまいります。株主の皆様には変わらぬご支援とご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

※1 Post Merger Integration
※2 OSG Product Data Management System

1株当たりの配当金

(円)



配当性向

(%)



ROE

(%)





台湾大宝精密 創立50周年

100%子会社とし、本社と軌を一にして さらなる飛躍を遂げていきます

台湾大宝精密は、1969年に台湾大手ねじメーカーの春雨公司の李春雨董事長とオーエスジー創業者の大沢秀雄が合併で設立した会社です。オーエスジーでは初めて設立した海外工場で、1970年にタップの生産を始め、1976年には転造ダイス、1986年にはJIS規格の認証を取得するなど順調に成長を続け、1996年に広東省東莞市へ工場を設立して中国への生産移管を進めたほか、1999年には台湾の株式市場に上場を果たしました。その後、2006年7月には岡山本洲工業区に敷地面積35,000㎡、工場面積12,000㎡の新工場を建設し、工場内での徹底した温度管理を行うことで、高精度な製品が生産できる環境を整備しました。今ではタップの生産能力は50万本/月となり、八名工場に次ぐ生産能力を誇っています。

現在は台湾の精密機器産業・航空機産業のニーズに応えるべく、高付加価値な超硬工具の生産も進めており、今後の成長の柱にしていく計画です。創立50周年を迎え、100%子会社化を図り、オーエスジー本社と一体となってさらなる発展を目指してまいります。



50周年イベントの様子



ヨーロッパ 新規連結子会社紹介

Brunswick Tooling Ltd.

2019年にオーエスジーの連結子会社となったブランズウィックツーリング社は、イギリス中部の西ヨークシャー地方に会社を構える、従業員30名余りの切削工具製造販売会社です。この会社は、穴の内面を精密に仕上げるリーマ、刃先交換型のインデキサブルツール、CFRP*の加工も可能なダイヤモンド工具などを主に扱っています。オーエスジーとのシナジー効果創出に向け、ブランズウィックツーリング社の販売チャネルを活かし、オーエスジーが今まで参入しきれていなかったイギリスの航空機産業や自動車産業のTier1サプライヤーへの受注活動に積極的に取り組んでいきます。



ブランズウィック社の社員



ブランズウィック社の様子



*炭素繊維強化プラスチック

UK

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前期末 18年11月30日現在	当期末 19年11月30日現在	増減額
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	24,406	26,950	2,544
受取手形及び売掛金	25,128	22,400	△2,728
棚卸資産	38,802	43,878	5,076
その他	2,781	3,073	292
貸倒引当金	△198	△198	0
流動資産合計	90,920	96,104	5,184
固定資産			
有形固定資産			
建物及び構築物	19,871	18,663	△1,208
機械装置及び運搬具	32,269	35,217	2,947
工具、器具及び備品	2,159	2,179	20
土地	15,172	14,864	△307
建設仮勘定	2,748	7,199	4,450
その他	4	12	7
有形固定資産合計	72,226	78,137	5,910
無形固定資産			
のれん	3,367	3,613	246
その他	633	1,412	779
無形固定資産合計	4,000	5,026	1,025
投資その他の資産			
投資有価証券	4,610	3,882	△728
出資金	1,859	1,203	△656
その他	4,783	6,425	1,641
貸倒引当金	△381	△364	16
投資その他の資産合計	10,873	11,146	273
固定資産合計	87,100	94,309	7,209
資産合計	178,020	190,414	12,393

(単位:百万円)

	前期末 18年11月30日現在	当期末 19年11月30日現在	増減額
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	6,067	6,039	△28
短期借入金	2,282	2,742	460
1年内返済予定の 長期借入金	1,175	546	△628
未払費用	7,878	7,822	△55
未払法人税等	2,732	2,699	△32
その他	4,066	3,727	△339
流動負債合計	24,202	23,578	△624
固定負債			
社債	-	5,000	5,000
転換社債型 新株予約権付社債	1,860	1,670	△190
長期借入金	10,294	16,822	6,528
繰延税金負債	953	1,079	126
その他	2,355	1,604	△751
固定負債合計	15,463	26,177	10,713
負債合計	39,666	49,755	10,088
純資産の部			
株主資本			
資本金	12,124	12,194	70
資本剰余金	13,662	13,731	68
利益剰余金	100,260	109,428	9,168
自己株式	△161	△1,894	△1,732
株主資本合計	125,886	133,460	7,574
その他の包括利益累計額			
その他有価証券 評価差額金	1,608	1,281	△326
為替換算調整勘定	△2,161	△5,663	△3,501
その他の包括利益 累計額合計	△553	△4,381	△3,828
新株予約権	13	13	-
非支配株主持分	13,008	11,567	△1,441
純資産合計	138,354	140,658	2,304
負債純資産合計	178,020	190,414	12,393

(注)「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、2018年11月期に係る連結財政状態については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前期 17年12月1日～ 18年11月30日	当期 18年12月1日～ 19年11月30日	増減額
売上高	131,368	126,964	△4,404
売上原価	74,833	73,281	△1,551
売上総利益	56,535	53,682	△2,852
販売費及び一般管理費	34,015	34,128	113
営業利益	22,520	19,554	△2,966
営業外収益			
受取利息及び配当金	322	343	21
補助金収入	254	252	△2
その他	885	921	35
営業外収益合計	1,463	1,908	445
営業外費用			
支払利息	164	205	41
売上割引	817	787	△29
為替差損	119	260	140
その他	313	497	183
営業外費用合計	1,415	1,752	336
経常利益	22,567	19,710	△2,857
特別利益			
投資有価証券売却益	-	474	474
特別利益合計	-	474	474
特別損失			
投資有価証券評価損	-	339	339
特別損失合計	-	339	339
税金等調整前 当期純利益	22,567	19,845	△2,722
法人税、住民税 及び事業税	7,111	5,963	△1,147
法人税等調整額	△184	△409	△224
法人税等合計	6,926	5,554	△1,372
当期純利益	15,641	14,291	△1,350
非支配株主に帰属する 当期純利益	930	604	△326
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,710	13,686	△1,024
1株当たり親会社株主に 帰属する当期純利益	150.47	140.06	△10.41

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前期 17年12月1日～ 18年11月30日	当期 18年12月1日～ 19年11月30日	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	20,125	19,261	△863
投資活動による キャッシュ・フロー	△13,351	△20,314	△6,963
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,723	3,465	8,188
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△333	△690	△357
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,716	1,721	4
現金及び現金同等物の 期首残高	19,598	21,545	1,946
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	229	437	207
現金及び現金同等物の 期末残高	21,545	23,704	2,159

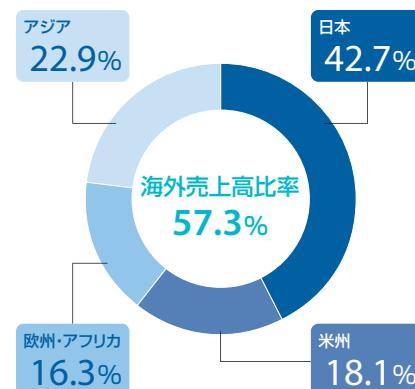
連結セグメント情報

製品別売上高

(単位:百万円)

	前期 17年12月1日～ 18年11月30日	当期 18年12月1日～ 19年11月30日	増減額
精密工具			
切削工具			
ねじ切り工具	41,729	39,895	△1,833
ミーリングカッター	27,917	26,690	△1,226
その他切削工具	36,811	36,147	△664
切削工具合計	106,458	102,733	△3,725
転造工具	10,645	9,973	△671
測定工具	1,757	1,946	189
精密工具合計	118,860	114,653	△4,207
その他	12,508	12,310	△197
合計	131,368	126,964	△4,404

地域別売上構成比



所在地別セグメント業績

(単位:百万円)

	前期 17年12月1日～ 18年11月30日	当期 18年12月1日～ 19年11月30日	増減額	当期の営業概況
日本				
売上高	76,374	76,770	396	主要ユーザーである自動車関連産業向けをはじめ、幅広い業種から需要は比較的堅調に推移しました。輸出では中国向けが低調に推移したため、売上高・営業利益ともに前期並みとなりました。
営業利益	11,779	12,086	307	
営業利益率	15.4%	15.7%		
米州				
売上高	23,081	23,731	650	主要市場の北米では、航空機関連産業向けが引き続き好調でしたが、その他業種において減速感が見られました。売上高は増加しましたが、営業利益はのれん償却費の増加等により減少となりました。
営業利益	3,379	2,736	△643	
営業利益率	14.6%	11.5%		
欧州・アフリカ				
売上高	22,305	21,033	△1,272	Brexit等の政治リスクや、米中貿易摩擦も一部の国に影響する中、現地通貨ベースでの売上高はほぼ同水準でしたが、ユーロ安による為替換算の影響もあり、前期と比較して減収減益となりました。
営業利益	1,891	1,177	△714	
営業利益率	8.5%	5.6%		
アジア				
売上高	34,336	31,591	△2,745	中国では米中貿易摩擦に端を発して製造業稼働率の低下を招き、韓国、台湾、及びその他の新興国でも中国景気減速の影響を受け、アジアセグメント全体で前期と比較して減収減益となりました。
営業利益	5,596	3,930	△1,666	
営業利益率	16.3%	12.4%		



会社概要

商号 オーエスジー株式会社
OSG Corporation

本社 愛知県豊川市本野ヶ原三丁目22番地

設立 1938年3月26日

資本金 121億94百万円

従業員 連結7,236名 単独1,845名

事業内容 切削工具・転造工具・測定工具・工作機械・
機械部品の製造販売、工具の輸入販売

役員 (2020年2月22日現在)

代表取締役社長兼 CEO(最高経営責任者)	石川 則男
取締役専務執行役員	大沢 伸朗
取締役(監査等委員)	大沢 吾平
取締役(監査等委員)	中川 威雄*
取締役(監査等委員)	小野 喬四朗*
取締役(監査等委員)	榊 佳之*
取締役(監査等委員)	高橋 明人*
取締役(監査等委員)	原 邦彦*
常務執行役員	大沢 二郎
常務執行役員	大沢 秀朗
常務執行役員	竹生 光志
上席執行役員	彦坂 光義
上席執行役員	米田 能崇
執行役員	Jeffrey Tennant
執行役員	久留 俊弘
執行役員	鈴木 康司
執行役員	大橋 英之
執行役員	杉原 健也
執行役員	鄭 承鎮
執行役員	近田 幸典
執行役員	石田 修

*取締役のうち、中川威雄、小野喬四朗、榊佳之、高橋明人、原邦彦の各氏は社外取締役であります。

株式の状況

発行可能株式総数

200,000,000株

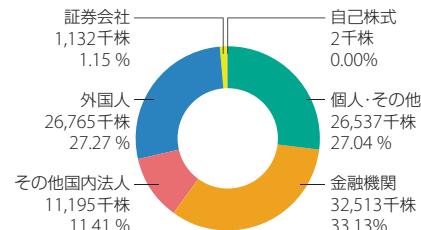
発行済株式総数

98,147,239株

株主総数

7,324名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	所有株式数(千株)	所有株式数比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,713	6.84
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	5,451	5.55
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,566	4.65
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	3,796	3.87
オーエスジーエージェント会	3,066	3.12
オーエスジー持株会	2,543	2.59
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,348	2.39
公益財団法人大澤科学技術振興財団	2,340	2.38
株式会社三井住友銀行	2,100	2.14
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	2,095	2.14

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 所有株式数比率は自己株式を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度 毎年12月1日から翌年11月30日まで

定時株主総会 毎年2月開催

基準日 定時株主総会・期末配当 毎年11月30日
中間配当 毎年5月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告によります。ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。
https://www.osg.co.jp/about_us/ir/kessan/

単元株式数 100株

上場金融商品取引所 東京・名古屋両取引所

証券コード 6136

2018.12.1

2019.11.30

OSG Today

オーエスジーグループの展示ブースを集結し知名度アップ!

世界3大工作機械見本市「EMO Hannover 2019」に出展

2019年9月16日から21日まで、ドイツのハノーバーで開催された「EMO Hannover 2019」は、出展企業だけでなく来場者も国際色が豊かな真に国際的な金属加工の見本市です。今回は2,200社以上が出展し、世界150カ国からおよそ12万人が来場しました。「明日の製造業を動かすスマートテクノロジー」をテーマに、工業生産のプロセスに欠かせない現代の金属加工技術が各社から提案されました。オーエスジーグループでは、オーエスジーの連結子会社5社が隣り合って出展、最新の製品に加え、効率的な技術ソリューションを意欲的にアピールしたことで、欧州におけるオーエスジーの知名度アップに貢献しました。



オーエスジーグループ展示ブースの様子



男子硬式テニス部のメンバー

硬式テニス部が快進撃!

実業団テニスの日本最高峰「日本リーグ」に出場

「第34回テニス日本リーグ」(以下日本リーグ)は、日本のトッププロ選手や、世界ランキングを持つ海外選手の所属する企業チームが戦う日本最高峰のテニス団体戦で、2019年12月から翌年2月にわたって18の企業チームで行われました。オーエスジー男子硬式テニス部は10月4日から6日、上位4チームに「日本リーグ」の出場権が与えられる、「第33回全国実業団対抗テニストーナメント」に出場、全17企業中4位入賞を果たし、「日本リーグ」出場権を勝ち取りました。創部以来、念願の「日本リーグ」初参戦を果たしました。今後もチーム一丸となり1試合1試合全力で戦い、青いOSG旋風を巻き起こして頑張ります!



オーエスジー株式会社

〒442-8543 愛知県豊川市本野ケ原三丁目22番地
TEL:0533-82-1111 FAX:0533-82-1131
<https://www.osg.co.jp/>

